

奨学金返済支援制度

代理返還制度の活用と社員エンゲージメント向上への取り組み



2024年6月19日

管理統括部 人事部 細根宇紘



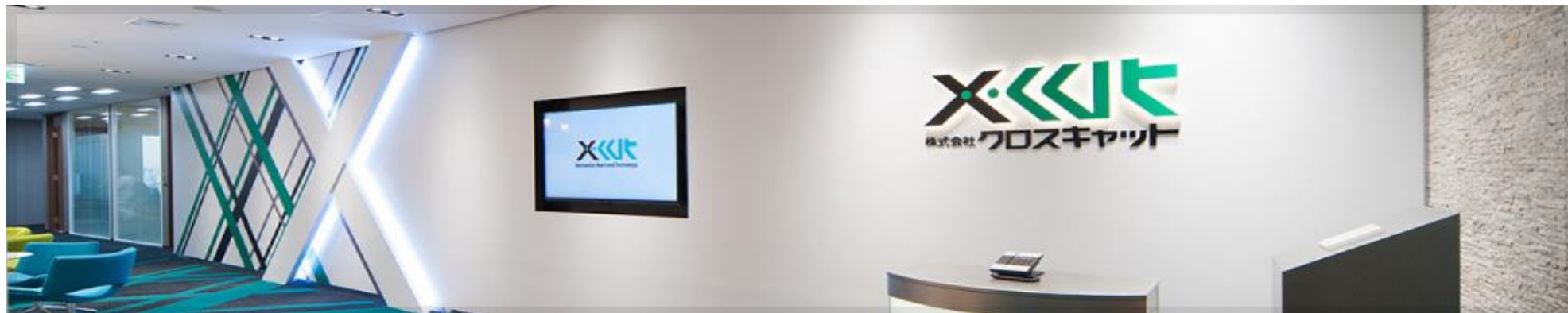
細根 宇紘（ほそね たかひろ）

株式会社クロスキャット
管理統括部 人事部 部長

- 2004年 クロスキャットに新卒入社
金融システムエンジニアとして従事
- 2010年 プロジェクトリーダー
- 2017年 人事部リーダー
- 2021年 管理統括部 人事部長（現職）

1. クロスキャットについて
2. 奨学金返済支援制度
3. その他の施策
4. 質疑応答

会社概要



▶ 社名（商号）	株式会社 クロスキャット	▶ 資本金	1,000百万円 東京証券取引所 プライム市場（証券コード2307）
▶ 設立	1973年6月	▶ 事業内容	システムソリューション ・システム開発サービス ・BIビジネス ソリューションサービス ・CC-BizMate ・CC-Smartシリーズ
▶ 売上高	138億35百万円 （2022年度実績・連結） 121億19百万円（2021年度実績・連結） 96億26百万円（2020年度実績・連結）	▶ 認証・登録等	ISO27001認証（IS82319） ISO9001認証（99QR-193） プライバシーマーク認定（第11820455号） 一般労働者派遣事業（派13-050152） 有料職業紹介事業（13-ユ-304489） 電気通信事業（A-20-10149） CMMIレベル5達成（公共第1ビジネス事業部 公共第1部）
▶ 本社所在地	〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス20階		
▶ 従業員数	849名(連結) 541名(単体)（2023年4月1日現在）		
▶ 関係会社	株式会社クロスユーアイエス 大阪府大阪市中央区南船場4-2-4 株式会社クロスアクティブ 東京都千代田区二番町4-3 株式会社クロスリード 宮城県仙台市青葉区本町2-15-1		

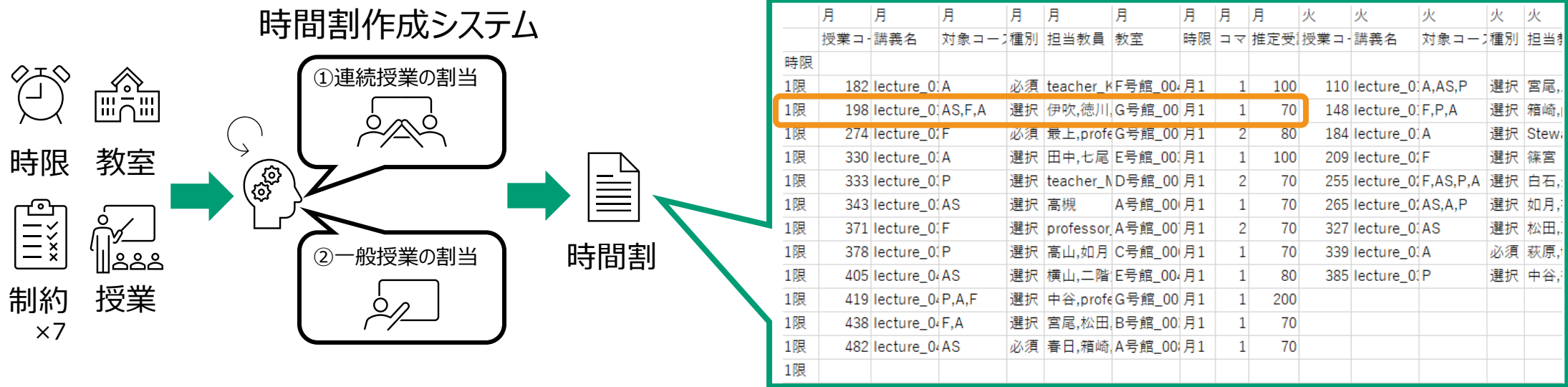
主な事業内容

クレジット向けシステム  ・約30年のクレジット業務の実績 ・国際ブランド業務の高度な開発力 ・マルチ決済対応	生損保・代理店向けシステム  ・保険代理店業務の実績ノウハウ ・生損保・代理店システムの開発力 ・大規模インフラ構築	銀行向けシステム  ・銀行の勘定系システム構築実績 ・オープン基幹系システム全体設計 ・マルチベンダー対応	公共機関向けシステム  ・官公庁/公営競技などの対応実績 ・入札資格全省庁統一資格Aランク ・全国規模のインフラ整備・保守	事業法人向けシステム  ・25年を超えるBI導入支援実績 ・データドリブン経営の支援体制 ・製造、流通等幅広い分野の対応力
IT基盤構築・運用 (OCI、AWS、Azureなど)  ・マルチクラウドに対応したシステム基盤構築 ・オンプレミス、クラウド、ハイブリッドクラウドから最適なインフラ構築の選定・構築 ・既存システムのクラウド移行支援（リフト&シフト） ・サーバー、ネットワーク、ストレージから仮想化、クラウドまで幅広く対応				
DX Digital Transformation 情報可視化・分析（BI） コンサルティングサービス	 DX推進支援フレームワーク	●お客様のDX実現に向けて、DXリテラシー教育からデータの収集、分析・活用支援まで幅広くサポート ●日本オラクル、Tableau Japan、日本IBM、WingArc1st各社とのパートナーシップによる強力な支援体制 【DXを加速させるクロスキャット独自開発ソリューション】 ・クラウド勤怠管理システム「CC-BizMate」  CC-BizMate ・会議予約管理システム「CC-SmartReservation」  CC-SmartReservation ・経営ダッシュボード構築支援サービス「CC-MicView」  CC-MicView		

時間割の自動作成

講義の時限、教室、担当教員など様々な制約をもとに月曜日から金曜日までの**時間割を自動で決定**
「特定の曜日は多めに」などの要望も考慮することが可能

システムと出力例



システムの出力結果(1コマ分は橙枠)。時間割の見た目に並べ変わったxlsxデータが得られる。

1. クロスキャットについて
- 2. 奨学金返済支援制度**
3. その他の施策
4. 質疑応答

奨学金返済支援制度の歩み

制度開始

- ・ 入社初年度に最高**120万円**を一括支給
- ・ 社員が自分で手続きし、繰り上げ返還する

2017年

2021年

2022年

制度変更

- ・ 一括支給から分割支給に変更
- ・ 最高**180万円**支給に

代理返還制度に移行

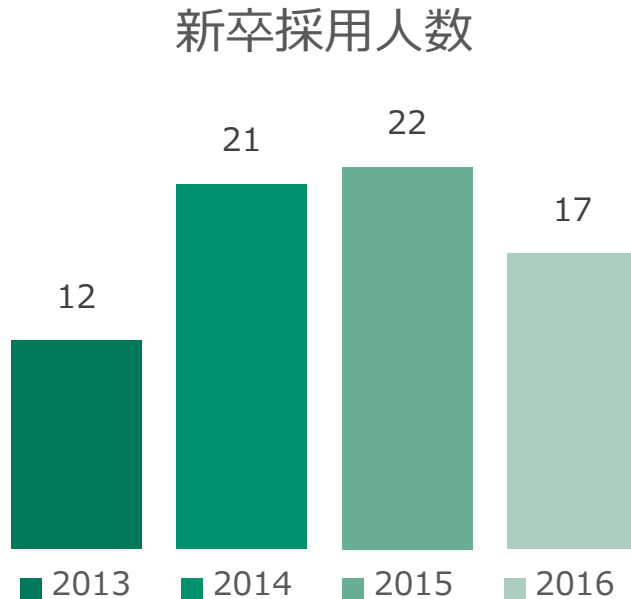
- ・ 日本学生支援機構の代理返還制度を利用
- ・ **社員自らの返済が不要に**

計**153名**利用

現在

- ✓ まとまった金額の奨学金を利用している社員が少なくない。
- ✓ BtoB企業で一般の知名度が低く、新卒採用が不調であった。

奨学金返済支援制度導入前（2017年度以前）の当社の新卒採用数



毎年30名採用を目標にしているけど一向に達成できない・・・



2017年4月に奨学金返済支援制度を適用開始。（発表は2016年）

■ クロスキャットの奨学金返済支援制度とは？

- ・ 入社1年目の冬のボーナスに上乗せ支給。（12月）
支給額は最高120万円
- ・ もらった一時金は返さなくて良い！

■ 制度を利用する条件は？

- ・ 貸与型の奨学金であること。
（日本学生支援機構、地方自治体の奨学金を原則とする。）
- ・ 支給予定日に在籍していること。
- ・ 必ず奨学金返済に充てること。



導入初期（制度概要）

Q 制度利用資格はありますか？

A 4年制大学、大学院の新卒入社社員で、貸与型奨学金（日本学生支援機構、各地方公共団体）の受給者が対象です。^{※1}
また、支給時に在籍していることが条件です。

※1.その他奨学金については、会社が認めた場合に一時金を支給することがあります。

Q 特定校の学生を採用するための制度なのではないでしょうか？

A 出身大学、出身学部の制約は設けておりません。

Q 制度利用者の人数制限はあるのでしょうか？

A 対象者が希望すれば全員利用できます。人数制限は設けておりません。

Q 実際に受け取れる金額はいくらですか？

A 支給額面は入社時点の奨学金返済予定残高の1.2倍の金額です。^{※2} 当該支援金は給与所得扱いとなり、支給時に所得税と社会保険料が源泉徴収されますので、実際に残高（上限100万円）相当額を受け取れるよう配慮しています。

※2.残高が100万円以上の場合は120万円

Q 奨学金受給者と非受給者とで選考基準に差があるのでしょうか？

A 選考基準は奨学金受給者と非受給者の方で変わることは全くありません。
当社選考基準による公正な判断をいたします。

Q 制度利用者に一定期間の就業義務はありますか？

A 一定期間の就業義務は設けておりません。一時金受給後に退職する場合も返還は求めることはありません。
（あくまで社員の経済的負担軽減と就業専念支援が目的であり、長く働いてもらえるよう企業努力をする方針）

発表直後は多くのメディアに取り上げられました。

TV放映

- 2016.03.01 NHK「ニュース シブ5時」
NHK「ニュース7」
- 2016.03.07 NHK「週刊ニュース深読み」
TBS「7DAYS」
- 2017.04.18 BS11「報道ライブ INsideOUT」



クロスキャスト 新卒採用強化

奨学金返済支援制度を導入

クロスキャスト

17年度新入社員から
上100万円 返済義務なし

地方学生に積極策
借上げ住宅の選択も

新聞報道

- 2016.03.07 日本情報産業新聞
- 2016.03.31 日本経済新聞
- 2016.06.16 静岡新聞
- 2016.06.20 長崎新聞
- 2016.06.21 産経新聞
- 2016.06.22 中国新聞、熊本日日新聞
- 2016.07.04 中部経済新聞、信濃毎日新聞
- 2016.07.07 佐賀新聞
- 2016.07.16 琉球新報
- 2017.01.24 フジサンケイビジネスアイ
- 2017.05.23 毎日新聞(大阪)

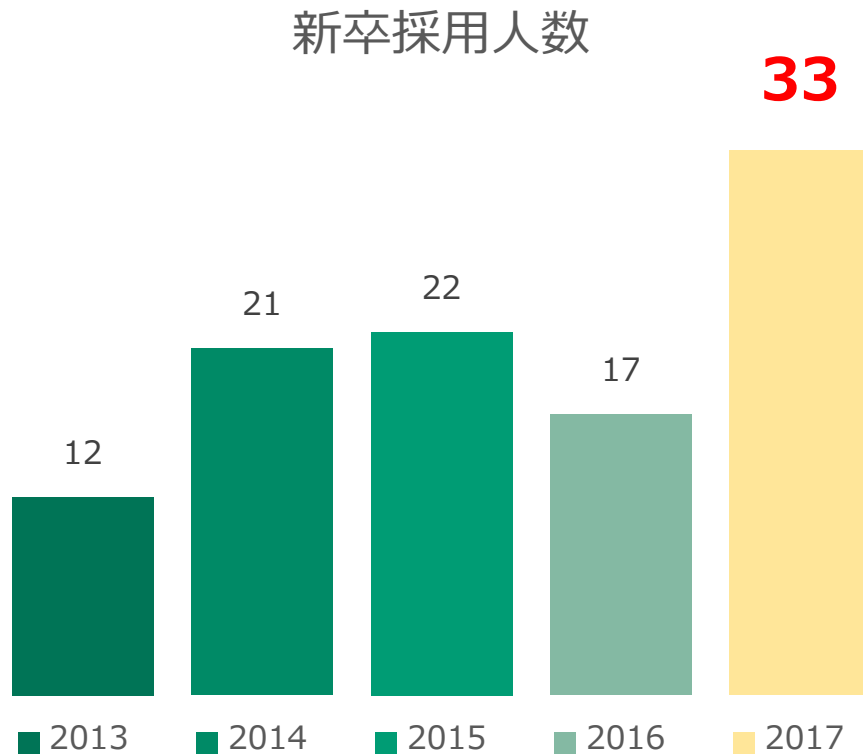
雑誌掲載

- 2017.05.23 週刊朝日

書籍掲載

石渡嶺司著 新潮新書「キレイゴトめぎの就活論」

新卒採用は目標30名を達成！



既存社員の声

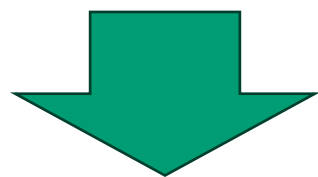


社員のことを大事にしてくれていることがうれしい。良い制度だと思う。

新卒にだけ適用して、既存社員は使えないのは不公平。



- ✓ 導入初年度は、支援金支給後に退職する社員が多かった。
- ✓ 一括支給では労働の対価という考え方にそぐわない側面があった。



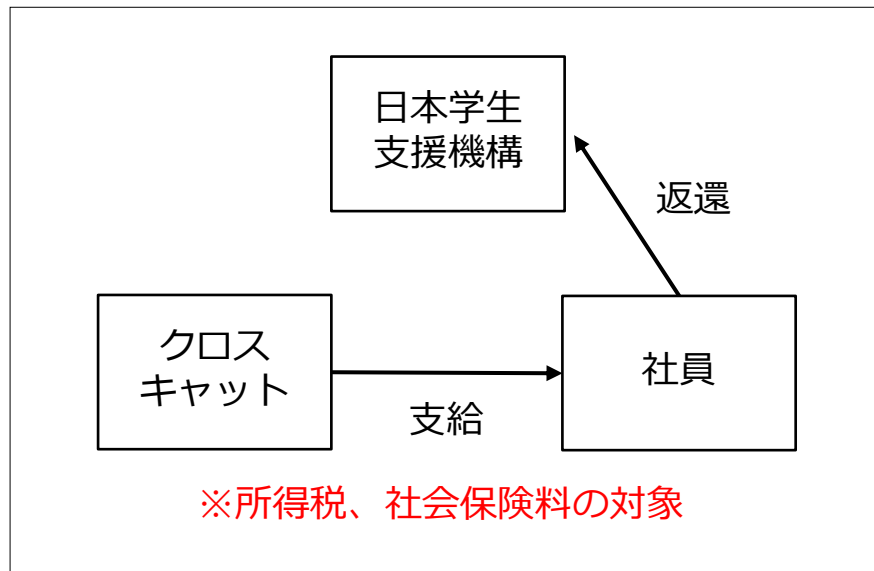
2021年度に制度を見直し

- 支給額を最大120万円 → **180**万円に増額
- 一括支給から分割支給に変更
- 最大5年間、毎月3万円を支給

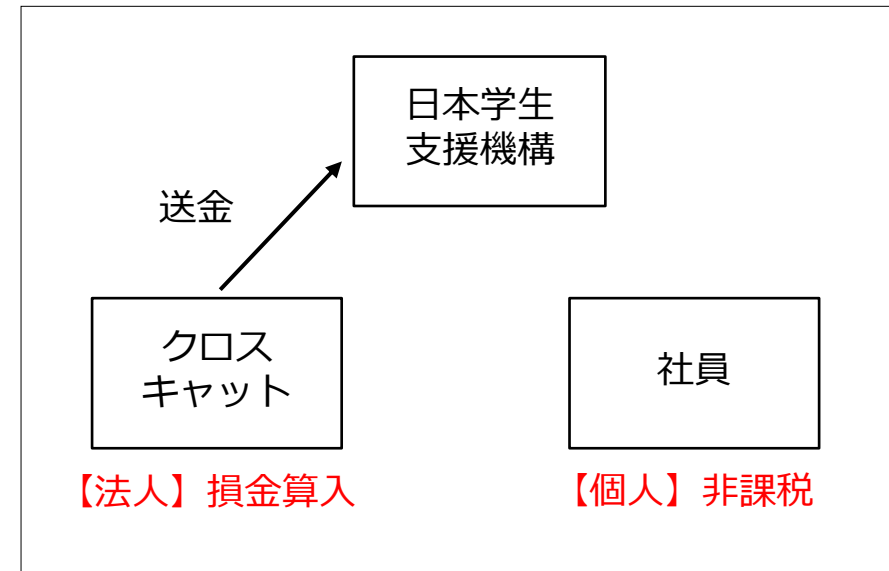
2022年度に代理返還制度に移行

- ✓ 企業にも個人にもほぼメリットしかなく、迷わず導入を決断
- ✓ 社員も返済のことを意識する必要がなくなりストレスフリーに

【これまで】



【代理返還制度実施後】



新卒採用への効果（定量）

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
採用人数（A）	17	33	33	38	40	46	39	53	61
奨学金利用者数（B）	—	16	21	16	23	15	16	24	23
利用割合（B/A）	—	48%	61%	42%	58%	33%	41%	45%	38%
最大借入額（万円）	—	668	643	530	576	576	626	739	調査中
最小借入額（万円）	—	108	174	192	72	211	120	60	調査中
【参考値】 世間の奨学金制度 利用割合	48.9%		47.5%		49.6%		55.0%		

制度開始

180万円に増額＆分割支給

※参考値は「学生生活調査」（独立行政法人日本学生支援機構）の大学学部（昼間部）の奨学金受給率

学生



「奨学金返済支援制度があると知って応募した。」

「奨学金支援制度が**入社の決め手になった。**」

大学



「**奨学金は元を込れば学費。**支援に感謝している。」

「奨学金支援制度がある企業を優先的に
学内企業合同説明会に案内している。」

返済支援制度の
対象外の
社員



「社員を大事にする会社だということが伝わった。**こういう制度がある会社は安心できる**ので、入社を決めた。」

「全社員が対象となる手当がほしい。なぜ奨学金なのか？」

1. クロスキャットについて
2. 奨学金返済支援制度
- 3. その他の施策**
4. 質疑応答

健康優良企業認定（金の認定）を取得 ※健康保険組合連合会

勤務時間

- ・フレックスタイム制度
- ・勤務間インターバル制度
- ・子どもが小3まで
時短勤務可能

働く環境

- ・テレワーク
- ・オフィスカジュアル
- ・オフィス フリーアドレス

休暇取得

- ・法定有休＋5日
- ・リフレッシュ休暇
(勤続年数に応じた長期休暇取得)
- ・5連休取得推進
- ・未消化有休残存制度

その他

- ・ランチミーティング
(経営層と社員が意見交換する場)
- ・バースデイサポート
(誕生日に提携レストランでの食事代補助)
- ・単身者向け住宅支援

1. クロスキャットについて
2. 奨学金返済支援制度
3. その他の施策
- 4. 質疑応答**

「心」と「技」で最適なソリューションを提供する情報サービス企業



Harmonize Heart and Technology

<https://www.xcat.co.jp>

* 本資料についてのご注意

本資料は、株式会社クロスキャットが独自に作成したものです。本資料に関する事項について、貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社クロスキャットに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。